

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	内容が児童生徒の実態に即し、適当である。内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。印刷が鮮明であり、造本も適切で体裁もよい。
	地理歴史	内容が本校生徒の実態に即しており、適切である。
	公民	内容が本校生徒の実態に即しており、適切である。
	数学	内容が各コースの本校生徒の実態に即しており、障がいやその他の特性の有無にかかわらず読みやすい。
	理科	内容が教科・科目の目標に適合しており、図表、表現などが正確であり、教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。画像がQRコードで読み取れ、タブレットですぐに確認でき、個別の学習にも適している。
	保健体育	基礎・基本的な事項の説明が多くあり、配列や関連付け、分量が適切で内容が系統的であることから、本校生徒の実態に即している。
	芸術	内容が系統的で本校生徒の実態に即しており、配列や関連付け、分量が適切である。また、造本も適切で体裁もよい。
	外国語	内容が本校生徒の実態に即しており、障がいやその他特性の有無にかかわらず読みやすい。
	家庭	内容が本校生徒の実態に即しており、教科の目標を達成するよう適切な創意・工夫がなされている。印刷が鮮明であり、見やすい。
	情報	内容が本校生徒の実態に即しており、適当である。
	理数	
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	
	商業	内容が本校生徒の実態に即しており、適当である。
	水産	
	家庭	内容が本校生徒の実態に即しており、教科の目標を達成するよう適切な創意・工夫がなされている。印刷が鮮明であり、見やすい。
	看護	
	情報	
	福祉	